

「切目川ダム検証に係る検討会議」の設置について

1 目的

- ・「関係地方公共団体からなる検討の場」として本会議を設置。

2 構成

- ・和歌山県
 - 県土整備部（河川・下水道局長、河川課長 ほか）
 - 日高振興局建設部（建設部長、切目川ダム建設事務所長 ほか）
- ・印南町（町長、副町長、建設課長、生活環境課長 ほか）

3 今後の予定

○設置、今後の進め方 [第1回]



○代替案（2～5案）の抽出



○代替案に対する総合的な評価

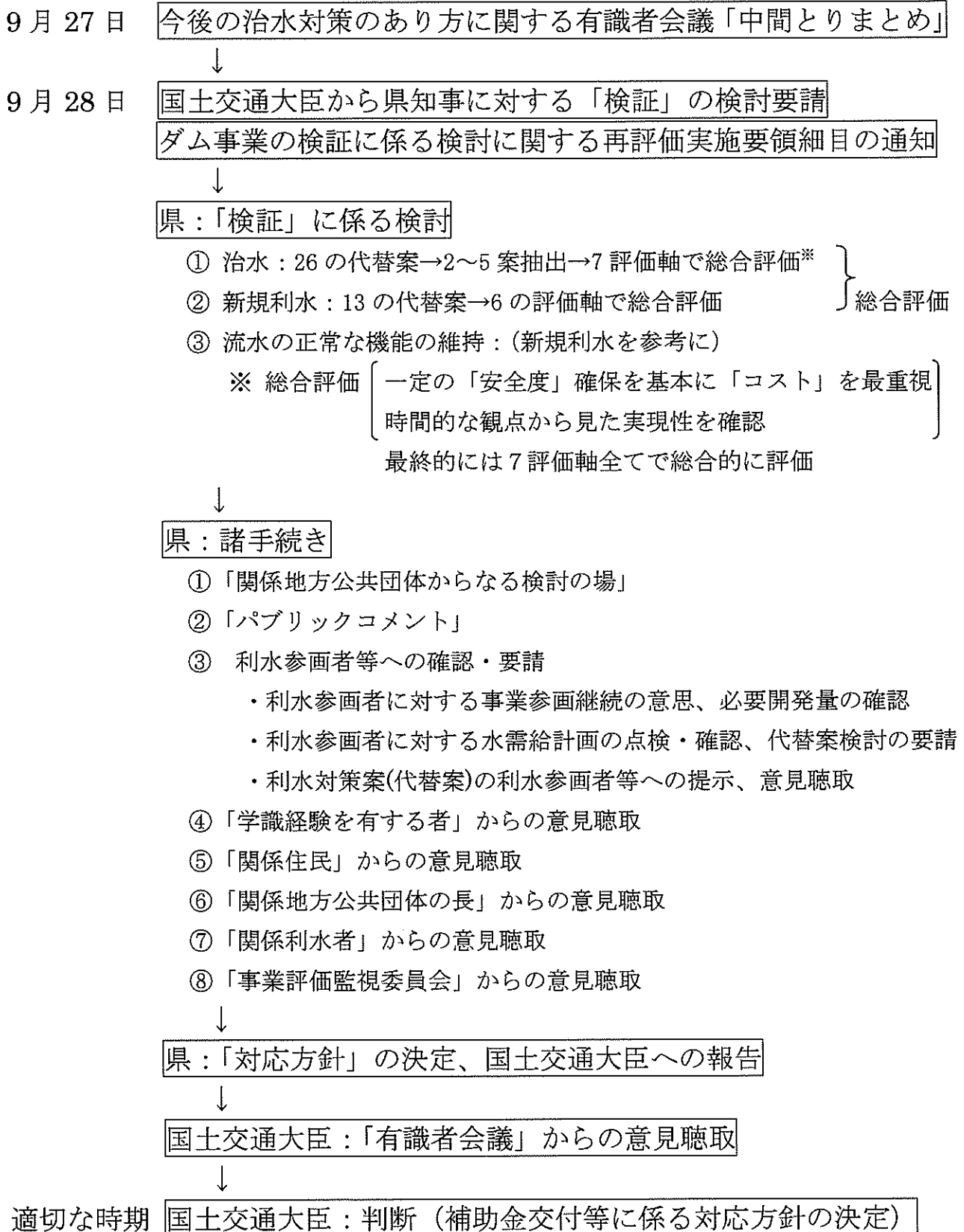


○報告書（案）・対応方針（案）

4 その他

- ・会議は原則非公開で実施、会議冒頭のカメラ撮りは可能。
- ・会議資料、議事要旨を、後日河川課ホームページで公開。
- ・その他必要な事項は、その都度協議する。

切目川ダム検証に係る検討の進め方について



※概算要求など予算措置を講じる上で適切な時期



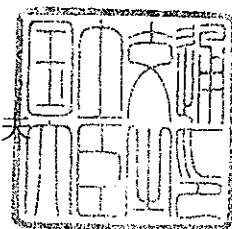
国河計調第6号

平成22年9月28日

和歌山県知事

仁坂 吉伸 殿

国土交通大臣
馬淵 澄



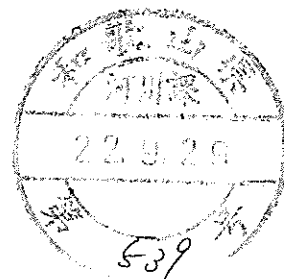
ダム事業の検証に係る検討について

貴職におかれましては、下記のダム事業について検証に係る検討を行うよう要請いたします。

なお、このたびの検証に当たっては、事業の再評価の枠組みを活用することとします。その詳細については別途通知します。

記

(事業名)	(施設名)
・切目川ダム	切目川ダム



○「中間とりまとめ」で提示されている26の治水対策案

- (1) ダム
- (2) ダムの有効活用（ダム再開発・再編、操作ルールの見直し等）
- (3) 遊水地（調節池）等
- (4) 放水路（捷水路）
- (5) 河道の掘削
- (6) 引堤
- (7) 堤防のかさ上げ（モバイルレビーを含む）
- (8) 河道内の樹木の伐採
- (9) 決壊しない堤防
- (10) 決壊しづらい堤防
- (11) 高規格堤防
- (12) 排水機場
- (13) 雨水貯留施設
- (14) 雨水浸透施設
- (15) 遊水機能を有する土地の保全
- (16) 部分的に低い堤防の存置
- (17) 霞堤の存置
- (18) 輪中堤
- (19) 二線堤
- (20) 樹林帯等
- (21) 宅地のかさ上げ、ピロティ建築等
- (22) 土地利用規制
- (23) 水田等の保全
- (24) 森林の保全
- (25) 洪水の予測、情報の提供等
- (26) 水害保険等

○「中間とりまとめ」で提示されている治水対策の7の評価軸

(1) 安全度（被害軽減効果）

- 河川整備計画レベルの目標に対し安全を確保できるか
- 目標を上回る洪水等が発生した場合にどのような状態となるか
- 段階的にどのように安全度が確保されていくのか（例えば5, 10年後）
- どの範囲どのような効果が確保されていくのか（上下流や支川等における効果）

(2) コスト

- 完成までに要する費用はどのくらいか
- 維持管理に要する費用はどのくらいか
- その他の費用（ダム中止に伴って発生する費用等）はどれくらいか

(3) 実現性

- 土地所有者等の協力の見通しはどうか
- その他の関係者との調整の見通しはどうか
- 法制度上の観点から実現性を見通しはどうか
- 技術上の観点から実現性を見通しはどうか

(4) 持続性

- 将来にわたって持続可能といえるか

(5) 柔軟性

- 地球温暖化に伴う気候変化や少子化など、将来の不確実性に対してどのように対応できるか

(6) 地域社会への影響

- 事業地及びその周辺への影響はどの程度か
- 地域振興に対してどのような効果があるか
- 地域間の利害の衡平への配慮がなされているか

(7) 環境への影響

- 水環境に対してどのような影響があるか
- 生物の多様性の確保及び流域の自然環境全体にどのような影響があるか
- 土砂流動がどう変化し、下流河川・海岸にどのように影響するか
- 景観、人と自然との豊かな触れ合いにどのような影響があるか
- その他

○「中間とりまとめで提示されている13の利水代替案

・検証対象

- (1) ダム
- (2) 河口堰
- (3) 湖沼開発
- (4) 流況調整河川

・利水代替案

- (5) 河道外貯留施設（貯水池）
- (6) ダム再開発（かさ上げ・掘削）
- (7) 他用途ダム容量の買い上げ
- (8) 水系間導水
- (9) 地下水取水
- (10) ため池（取水後の貯留施設を含む。）
- (11) 海水淡水化
- (12) 水源林の保全
- (13) ダム使用权等の振替
- (14) 既得水利の合理化・転用
- (15) 渇水調整の強化
- (16) 節水対策
- (17) 雨水・中水利用

○「中間とりまとめ」で提示されている利水に関する6の評価軸

(1) 目標

- 利水参画者に対し、開発量として何 m³/s 必要かを確認するとともに、その算出が妥当に行われているかを確認の上、その量を確保することとしており、その量を確保できるか
- 段階的にどのように効果が確保されていくのか
- どの範囲でどのような効果が確保されていくのか（取水位置別に、取水可能量がどのように確保されるか）
- どのような水質の用水が得られるか

(2) コスト

- 完成までに要する費用はどのくらいか
- 維持管理に要する費用はどのくらいか
- その他の費用（ダム中止に伴って発生する費用等）はどれくらいか

(3) 実現性

- 土地所有者等の協力の見通しはどうか
- 関係する河川使用者の同意の見通しはどうか
- 発電を目的として事業に参画している者への影響の程度はどうか
- その他の関係者との調整の見通しはどうか
- 事業期間はどの程度必要か
- 法制度上の観点から実現性を見通しはどうか
- 技術上の観点から実現性を見通しはどうか

(4) 持続性

- 将来にわたって持続可能といえるか

(5) 地域社会への影響

- 事業地及びその周辺への影響はどの程度か
- 地域振興に対してどのような効果があるか
- 地域間の利害の衡平への配慮がなされているか

(6) 環境への影響

- 水環境に対してどのような影響があるか
- 地下水位、地盤沈下や地下水の塩水化にどのような影響があるか
- 生物の多様性の確保及び流域の自然環境全体にどのような影響があるか
- 土砂流動がどう変化し、下流の河川・海岸にどのように影響するか
- 景観、人と自然との豊かなふれあいにどのような影響があるか
- CO₂ 排出負荷はどう変わるか
- その他

○検討における県の諸手続き（案）

①「関係地方公共団体からなる検討の場」

『切目川ダム検証に係る検討会議』

構成：和歌山県（県土整備部、日高振興局建設部）、印南町

②「パブリックコメント」

関係住民

③-1 利水参画者への確認・要請

印南町長

- ・利水参画者に対する事業参画継続の意思・必要開発量の確認
- ・利水参画者に対する水需給計画の点検・確認、代替案検討の要請

③-2 利水参画者等からの意見聴取

印南町長 ほか

- ・利水対策案(代替案)の利水参画者等への提示、意見聴取

④「学識経験者」からの意見聴取

『河川整備計画に係る委員会』（会長：井上和也京都大学名誉教授）

⑤「関係住民」からの意見聴取

関係住民の代表

⑥「関係地方公共団体の長」からの意見聴取

印南町長

⑦「関係利水者」からの意見聴取

印南町長 ほか

⑧「事業評価監視委員会」からの意見聴取

『和歌山県公共事業再評価委員会』（会長：田中昭彦元和歌山弁護士会会長）

和歌山県河川整備計画に係る委員会委員

	氏 名	役 職	専門分野
委員 (会長)	井上 和也	前河川環境管理財団大阪研究所所長 (京都大学名誉教授)	河川工学
委員	水田 義一	和歌山県文化財保護審議会委員 和歌山大学教育学部教授	文化財
委員	高須 英樹	和歌山県環境影響評価審査会委員 和歌山大学教育学部教授	環 境
委員	井伊 博行	切目川ダム環境委員会委員 和歌山大学システム工学部教授	水 質
委員	久次米 英昭	前紀の川土地改良区連合会事務局長	関係水利
委員	堀木 信男	和歌山県内水面漁場管理委員会委員	関係漁業

和歌山県公共事業再評価委員会委員

(任期:平成22年7月1日～平成24年6月30日)

分野・専門	氏名	役職等	備考
農業	今木紀和子	元和歌山県JA女性協議会会長	
経済	大橋迪男	和歌山大学教授	
商工	勝本僖一	和歌山県商工会議所副会頭	
観光	多田稔子	田辺市熊野ツーリズムビューロー会長	
法律	田中昭彦	元和歌山弁護士会会長	
地域振興	谷 奈々	(財)和歌山社会経済研究所 主任研究員	
環境	玉井済夫	元県立熊野高校校長	
環境計画	霧巻峰夫	和歌山工業高等専門学校准教授	
建築	中西重裕	和歌山県青年団体連絡協議会会長 建築家	
法律	松原敏美	元和歌山弁護士会会長	

(50音順による)

切目川ダム（切目川河川総合開発事業）

1 概要

切目川流域では、昭和63年に約30億円の被害額が発生するなど、これまで度重なる洪水による被害や農業用水が不足するなど渇水被害を受けており、住民生活に大きな支障を及ぼしてきました。

このため、県では洪水被害の軽減、水道用水と河川維持流量及び農業用水の確保を図るため、切目川河川総合開発事業に平成3年度から着手しております。

2 内容

- | | |
|----------|--|
| | <small>たかくし</small> |
| ・事業箇所 | 日高郡印南町高串地内 |
| ・事業期間 | 平成3年度から |
| ・ダムの諸元形 | 式：重力式コンクリートダム
洪水調節方式：自然調節方式
堤高：44.5m 総貯水容量：396万 ³ m |
| ・全体事業費 | 約159億円 |
| ・事業進捗状況 | 事業費進捗率約53%（平成22年度末時点）
ダムに係る用地取得・移転補償は完了 |
| ・今年度事業概要 | 事業費：14.2億円
転流工（H21～22年度）、
国道425号2号トンネル（H22～24年度）等 |

3 経過

- ・昭和62年度 予備調査開始
- ・平成3年度 実施計画調査（国庫補助事業）新規採択
- ・平成10年度 和歌山県公共事業再評価
- ・平成11年度 「切目川水系河川整備基本方針」策定
- ・平成12年度 「切目川水系河川整備計画」策定
- ・平成13年度 ダム建設新規採択
- ・平成16年度 ダム建設に伴う損失補償基準妥結（地元区・県）
付替国道（国道425号）工事着手
- ・平成17年度 和歌山県公共事業再評価
- ・平成19年度 高串区離村式（水没地区）
- ・平成20年度 和歌山県公共事業再評価
- ・平成21年度 「切目川ダムにおける環境評価について」公表
転流工工事着手
- ・平成22年度 付替道路（国道425号）一部供用